

緊急議会開かれる

根室市議会は1月28日、1月緊急議会を開き、2件の補正予算案を全会一致で可決しました。また、議案第1号の「根室市総合計画に係る基本構想および基本計画の策定について」は、根室市総合計画審査等特別委員会で審議されます。

名誉市民・故平賀洋明氏に黙とうをささげる

会議の冒頭、石垣雅敏市長は、昨年12月13日に亡くなられた、市立根室病院の顧問で名誉市民の平賀洋明氏の逝去について報告。議場内の全員で黙とうを捧げました。

ふるさと納税の見込みについて

石垣市長は行政報告で、ふるさと納税の受け入れについて報告。4月12月で65万2千件、142億5千万円となり、年度末には148億円となる見込みを示しました。

根室市総合計画審査等特別委員会委員の選任について

会派紬の久保田陽議員より委員退任の申し出があったことから、これを受理し、新たに同会派の

須崎和貴議員を委員とすることを全会一致で決定しました。

根室市総合計画に係る基本構想及び基本計画の策定について

第10期根室市総合計画は、10年間（2025～2034年）の根室市の『まちづくりの土台』となる計画で、市のすべての計画の上位計画と位置付けられています。

計画は、まちづくりの基本理念であり、将来都市像及び政策目標などの大綱を示す『基本構想』、基本構想に基づく市政の基本的な計画であり、政策目標を踏まえた施策の具体的な方策や成果指標を体系的に示す『基本計画』、基本計画に基づく財源の裏付けを伴う市政の具体的な計画であり、施策を実現するための事務事業を示す『実施計画』からなります。特別委員会では、『基本構想』『基本計画』について審査を行い、可否を決めます。日本共産党からは橋本竜一議員が委員（副委員長）となっています。

委員会の審査日程は未定ですが、2月中に行われ、2月定例会議会開会前には終了する予定です。

一般会計補正予算について
今回の一般会計補正予算は、ふるさと応援寄付者に対する返礼品贈呈経費の増額及び小中学校のエアコン設置にかかる経費の補正が主な内容です。

小中学校のエアコン設置については、昨年度中に終了する計画でしたが、北斗小、成央小、光洋中については電気設備（受変電設備）が古く、新たなエアコン設置が困難であることが判明したため、今回の補正での対応となりました。

水道事業会計補正予算について

今回の補正は、国土交通省が昨年1月1日に発生した能登半島地震の被害状況を踏まえ、自治体の給排水管の耐震化を促進するとしたことから、国庫補助金を活用し、重要給水施設排水管耐震化工事を行うための補正です。重要給水施設とは、市立病院や市役所庁舎、避難所など、災害時においても特に優先して給水を確保することが必要な施設のことです。

質疑に立った橋本議員は、現計画では令和7年度中に重要給水施設排水管耐震化が完了とされているが、今回の補正で達成されるのかを質問。建設水道部長は、令和7年度末までの完成は現状困難であり、6路線中5路線が完了するとの見込みを示しました。

橋本議員はまた、能登半島地震を踏まえ、国から上下水道耐震化計画の策定が求められているが、市としての取り組み状況を質問しました。

部長は、市として、現在策定作業を進めているところと答えました。

橋本議員は、避難所等への、特に下水道の耐震化が遅れている状況を指摘。国の財源をしっかりと確保して進めるよう求めました。

また、災害は、耐震化が完了する前に発生するかもしれません。耐震化を進めるとともに、給水車の整備など、水の確保対策を同時に進めていく必要があります。橋本議員は、このことについて、担当の見解を求めました。

部長は、まず、国等への財源の要望は引き続き進めていくと答弁。また、耐震化が完了すればそれでよしというわけではなく、災害時には、水の確保対策として、井戸の活用等市として効果的な対策を進めていくと答えました。

